

# 入札結果

平成22年4月20日/現在 (単位:円)

工事(業務)等の名称 (実施箇所)	契約価格 (税込み)	契約業者	完成予定
平成22年度一般廃棄物収集運搬処理処分業務(飯館村一円)	11,865,000	目黒 欣兒	平成23年3月末
平成22年度飯館村簡易水道事業施設維持管理(浄水管理)業務(飯館村簡易水道施設)	4,620,000	理水化学(株)仙台支店	平成23年3月末
平成22年度飯館村簡易水道事業施設維持管理(日常管理)業務(飯館村簡易水道施設)	5,092,500	飯館村管工事組合	平成23年3月末
平成22年度飯館村簡易水道事業水質検査及び保固検査業務(飯館村簡易水道施設)	5,460,000	福島県環境検査センター(株)	平成23年3月末
平成22年度飯館村農業集落排水処理施設維持管理業務(飯館村農業集落排水施設)	7,665,000	福島県土地改良事業団体連合会	平成23年3月末
平成22年度イツ・マデイ健康づくり事業運営業務(飯館村一円)	2,205,000	医療法人桜樹会 YAGOメディカルフィットネスクラブ	平成23年3月末
平成22年度介護保険(4業務)電算処理業務(飯館村一円)	1,753,500	(株)福島県中央計算センター	平成23年3月末
平成22年度後期高齢者医療電算業務(伊丹沢字伊丹沢地内)	6,708,303	(株)福島県中央計算センター	平成23年3月末
平成22年度飯館村電算システム維持管理支援業務(伊丹沢字伊丹沢地内)	5,145,000	(株)福島県中央計算センター	平成23年3月末
平成22年度行政OA(C&O)システム運用業務(伊丹沢字伊丹沢地内)	2,047,500	(株)福島県中央計算センター	平成23年3月末
平成22年度財務会計・電子決裁システム運用保守業務(伊丹沢字伊丹沢地内)	3,565,800	(株)福島県中央計算センター	平成23年3月末
平成22年度地域インターネット保守業務	1,159,200	(株)NTT東日本-福島	平成23年3月末

# 農業委員会からのお知らせ

## 農地改革プラン活動計画について

農業委員会では、農林水産省より「農地改革プラン」が示され、その事務が的確に実施されることを確保するため、活動状況等を検証することになり、昨年度から、各農業委員会において、点検・評価及び活動計画を策定、公表が義務付けられました。飯館村では、この農地改革プランに基づき「平成22年度の日標及びその達成に向けた活動計画」を策定しました。

### 《平成22年度の日標及びその達成に向けた活動計画》

#### 1. 【認定農業者等担い手の育成及び確保】

現状と課題

現 状	農家数 1,049 戸、認定農業者 84 経営、特定農業団体 13 団体
課 題	農家の高齢化や後継者不足により農業を担う者が減少している。

平成22年度の日標と活動計画

目 標	認定農業者 2 経営、特定農業団体 1 団体の増
活動計画	認定候補者への個別支援や経営改善計画日標達成に向けた支援を行う。

#### 2. 【担い手への農地の利用集積】

現状と課題

現 状	農地面積 2,582ha (田・畑・原野)のうちこれまでの集積面積 466ha
課 題	これまで認定農業者など中心に集積を図ってきたが、農業従事者の高齢化や農家数の減少により、近い将来流動化の停滞が予想される。

平成22年度の日標と活動計画

目 標	集積面積 42ha
活動計画	関係機関及び農業団体が一体となって担い手へ農地利用集積を推進する体制を整備するため、農地活用相談を随時実施する。

#### 3. 【耕作放棄地の解消】

現状と課題

現 状	耕作放棄地の面積 104ha (22年3月現在)
課 題	農業者の高齢化や後継者不在及び立地条件並びに有害鳥獣による農作物の被害による放棄。

平成22年度の日標と活動計画

目 標	解消面積 20ha
活動計画	耕作放棄地発生防止に向けた広報誌でのPR及び農地パトロールによる未然防止の声かけ運動を行う。

#### 4. 【農地パトロール】

平成22年度の活動計画

活動計画	農業委員及び農業委員会事務局職員による巡回調査。 一斉実施時期：10月～11月。地区担当委員ごとに毎月一回随時実施する。
------	---

〇お問い合わせ…飯館村農業委員会(☎42-1629)

## 患者の命を救う！

「いいたてクリニックとあつま脳神経外科病院との連携」

いいたてクリニックが診療を開始してから17日目です。

80歳の男性が家族に付き添われクリニックを受診しました。家族の話では、2日前から息をするたびヒューヒュー音を伴う呼吸音があり、全身の倦怠感を訴えていたため、風邪でもひいたのではと思ってクリニックに来たとの事でした。

胸のレントゲンと心電図検査を実施した結果、重度の心不全の疑いがあったため、あつま脳神経外科病院の循環器医師の専門の医師に相談したところ、すぐに専門的な治療が必要ということになり、救急車を呼びました。あつま脳神経外科病は、すでに循環器科の医師が待機しており、うつ血性心不全との診断で、直ちに体外式ペースメーカー、心臓カテーテル検査、集中治療室での専門的な治療を開始、何とか一命を取り留めました。現在も治療継続中ですが、

1ヶ月後には退院できる予定です。

「うつ血性心不全」とは、さまざまな原因により心臓のポンプ機能が損なわれた状態をいいます。その結果、心臓の働きが低下して肺や末梢の組織にむくみが生じ、息苦しく感じるようになるのです。しかし、高齢者では、このような典型的な症状よりもむしろ、「だるさ」「食欲不振」「便秘」「元気がない」などの一般的な症状だけが表に出ることがあり、注意が必要です。特に、あまり体を動かす機会がない高齢者の場合は、自然と心臓の機能が弱り心不全を起しているケースが珍しくありません。いつもと違う！と感じましたら、すぐに受診し医師にご相談ください。

平成22年4月28日

あつま脳神経外科病院  
副院長兼循環器内科統括部長  
袖長 安積